

●副町長の任命と、業務体質の改善について



森嶋和明
議員

副町長の任命は

Q

副町長制に関する町条例が、今年10月より施行される。池田町は4年前、岡崎町長が就任された時点より助役は置かず、町長・部長の体制で一般行政が進められてきた。

この体制はそれなりのメリットがあったが、何事も町長の判断で進行するというデメリットが出てきている。副町長の任命により、

ワンクッションを置くことは、部長以下職員の業務の充実につながると共に、町長自らの業務の拡大になると考える。副町長の任命についてののお考えと、時期を問う。

A

町長自らが、直接大きいことから、小さいことまで判断していることは、いろいろなデメリットが出たり、限界が出てきている。今年、職員の資質向上策を進め、将来を担ってくれる役割に対応で

きる職員づくりを進め、私自身は、外交、あるいは国等への、要望活動をやっていく体制づくりを進めたい。副町長の任命については、できれば早い段階にはとっているが、もう少し現体制を進めて1年ぐらい先と考えている。

住民協働のまちづくりを

Q

2期目の町政運営は、対話のある住民協働のまちづくりをと、考えて

A

おられるが、一部の部署やグループの活動が目について。もっと広く輪を広げての展開が必要ではないか。職員や消防団など、自発的に話が出て活動をしてくれた。一部の団体等より参加の申し出もあり、住民の皆様も参加してもらえ意識が増加してきたと受け止めている。議員の皆様も地域へ入っていただき、いっしょに協働のまちづくりの場を広げたい。



ボランティアによる歩道清掃



小中学生によるクリーンカンバック作戦



消防団による清掃活動